

水道に興味を持って

若松一中 二年 大竹 瑛仁

「ジャー、蛇口を捻ればいつもきれいな水
ができる水道。僕が生まれた時から、そば
にあり、のどが乾いたら、コップに水道の水
を注いで「ぐくりに。」「あー、美味しいなあ。
しかし、この当たり前に使っている水道につ
いて考えさせられることがあります。それ
は、千葉県長生郡市で出している「水道のは
なし」というリーフレット「水道の使用量、

人口減少に伴う様々な取り組みについて書い
たもの」を読んだときです。これはグラフを
用いて分かりやすく説明されている資料でし
た。その資料で、私が興味を込めたのは、
水源についてです。長生郡市では、水道水の
およそ二割を井戸からくみ上げ、た水を利用し、
残りの八割を利根川の水を利用してのこと
が書かれています。井戸から二割もくみ上
げていることに驚いたのと同時に、私が住ん
でいる会津若松市の水源についてどうなっている

のか疑問に思い、調べてみました。

調べてみると、会津若松市の水源は猪苗代湖や大川、東山ダムなどが水源になっていることがわかりました。私は以前、猪苗代湖清掃のボランティアに参加し、聞いた話を思い出しました。猪苗代湖は水質が日本一きれいな湖だったので、環境汚染によって水質が悪化し、日本一どころか、水質ランキングから猪苗代湖の各前は消えてしまったというところでした。大腸菌群数も環境基準を超える

など、それでもきれいな状況だっただけです。現在はたくさんの方のおかげで、水質が改善していることも聞きました。私は参加した清掃ボランティアが少しでも水質改善に貢献できたのかと思うと、少しうれしくなりました。また、自分が飲んだ水道水の水質をきれいにできたことを知り、水道水が少しだけおいしく感じました。今後も清掃ボランティアなどと積極的に参加し、水をきれいにするお手伝いをしたいです。

めて感じました。

次に興味があつたのが、人口減少に伴う水道事業継続の取り組みについてです。人口が減ることによって、全体の水道水の使用量が減り、その結果水道料金として徴収できるお金も減つてしまひ、水道事業が成り立たなくなつてしまふ恐れがあることを知りました。そして老朽化した浄水場や水道管の交換に多くのお金が必要となつていふことも知りました。お金が必要なのに、水道料金の徴収が少なくな

つてしまつていゝ中、長生郡市では一部の浄水場を廃止したり、水道管を交換する際に適切な口径おものにして、使う水の量を減らす工夫をし、水道事業を継続させようとしていふことを知り、すごいことだと思ひました。老朽化の問題について調べたところ、長生郡市だけではなく全国で同じ問題を抱えていゝ自治体が多くあることも分かりました。そして、会津若松市も同様の問題があることを知り、決して他人ごとではないと感じました。そ

して、会津若松市でも取り組みをしていること
とを知りました。その中でも、東日本大震災
のような災害から水道管の耐震化についても
進めていることを知りました。私たちが断水
などで困らないように取り組んでもらって
いることを知ることで、いい機会にもなり
ました。

水道があるのは当たり前前のものいやなり、
いつ無くなってしまうか、あからずまり。自分
の中にそんな考えが思い浮かんだ時に、自分

にできることはなんでしょうかと考えました。一
番最初に頭に浮かんだのが水道を大事に使お
うでした。水を出しっぱなしにしない。ちょ
つとしたことですが、節水に協力しようと思
いました。そして、水を汚さない工夫も大事
だと思いました。川や湖がともきれいで、
湧き水のようにならないうまみ飲ぶことができたら、
浄水場などを維持するお金も安く抑えること
ができると思います。今回、水道水に関して
いろいろと知ることができたことで、一番良

かっただのは、水道に関して興味を持てるように
に作ったことです。私たちが興味を持つこと
が水道を大事にしていくことの第一歩ではない
かと思えます。節水も水をきれいに使うこと
も、興味がなければできなれりと思えます。今
回知ることができた様々な取り組みも興味を
もっていきなれりと思えます。

最後にたくさんの方々の努力のおかげで
水道が使えるていることを改めて知り、感謝し
て大事に使おうと思えました。